

**令和5年度 電波の利用状況調査
(第3号調査:各種無線システムの調査)**

**重点調査結果修正
および第29回有効利用評価部会で頂いた質問について**

**令和6年4月
総合通信基盤局電波部
電波政策課**

- 重点調査対象「26GHz帯FWA」の調査結果において、集計の誤りがございましたのでご報告いたします。
- 周波数ブロックごとの無線局数集計において、一部の無線局が誤って隣接するブロックにも重複計上されておりました。
- 対象図表を修正させていただきます。誠に申し訳ございませんでした。

<修正対象資料>

- ・令和5年度 電波の利用状況調査
(第3号調査:各種無線システムの調査)
調査結果概要 別冊1 令和5年度 重点調査結果
*P17 図表
*P18 図表

- ・令和5年度 電波の利用状況調査の調査結果(714MHz超の周波数帯)
*図表一全一2一1一19 無線局の年間の運用区域実績(周波数ブロック別)
*図表一全一2一1一25 周波数集計区分ごとの無線局数
*図表一全一2一1一27 周波数集計区分ごとの空中線電力
(その他 別冊調査結果ファイルの該当箇所)

**令和5年度 電波の利用状況調査
(第3号調査:各種無線システムの調査)**

－ 調査結果概要 －
別冊1 令和5年度 重点調査結果

令和6年3月
総合通信基盤局電波部
電波政策課

令和5年度
電波の利用状況調査の調査結果
(714MHz 超の周波数帯)

令和6年3月

総務省

重点調査結果
26GHz帯FWA

4 無線局の具体的な使用実態⑥

17

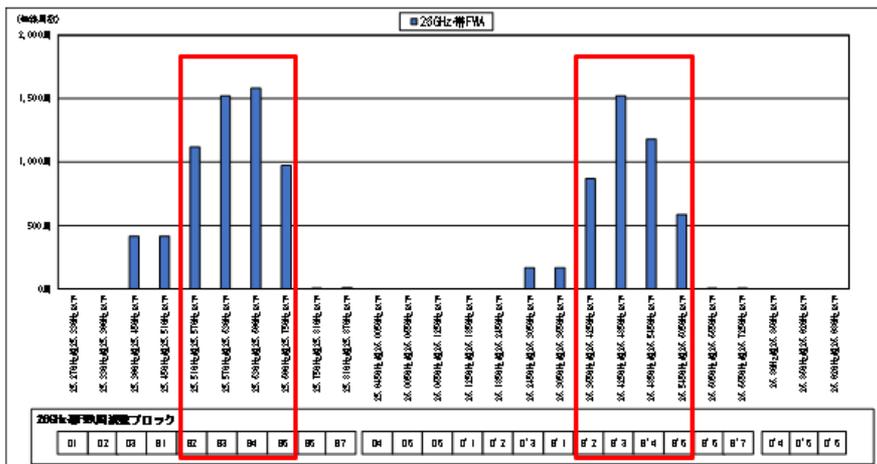
誤

★(3)周波数帯幅利用状況

★:アクションプランで着目している項目

◆周波数集計区分ごとの無線局数

設問の対象: 全ての無線局



ブロック名	周波数集計区分	無線局数
D1	25. 27GHz 超25. 33GHz以下	0局
D2	25. 33GHz 超25. 39GHz以下	0局
D3	25. 39GHz 超25. 45GHz以下	416局
B1	25. 45GHz 超25. 51GHz以下	416局
B2	25. 51GHz 超25. 57GHz以下	1,119局
B3	25. 57GHz 超25. 63GHz以下	1,520局
B4	25. 63GHz 超25. 69GHz以下	1,582局
B5	25. 69GHz 超25. 75GHz以下	974局
B6	25. 75GHz 超25. 81GHz以下	6局
B7	25. 81GHz 超25. 87GHz以下	11局
D4	25. 945GHz 超26. 005GHz以下	0局
D5	26. 005GHz 超26. 065GHz以下	0局
D6	26. 065GHz 超26. 125GHz以下	0局
D'1	26. 125GHz 超26. 185GHz以下	0局
D'2	26. 185GHz 超26. 245GHz以下	0局
D'3	26. 245GHz 超26. 305GHz以下	167局
B'1	26. 305GHz 超26. 365GHz以下	167局
B'2	26. 365GHz 超26. 425GHz以下	870局
B'3	26. 425GHz 超26. 485GHz以下	1,520局
B'4	26. 485GHz 超26. 545GHz以下	1,181局
B'5	26. 545GHz 超26. 605GHz以下	587局
B'6	26. 605GHz 超26. 665GHz以下	6局
B'7	26. 665GHz 超26. 725GHz以下	7局
D'4	26. 8GHz 超26. 86GHz以下	0局
D'5	26. 86GHz 超26. 92GHz以下	0局
D'6	26. 92GHz 超26. 98GHz以下	0局

調査結果のポイント

- 周波数集計区分ごとの無線局数を見ると、26GHz帯FWAについては一部の周波数帯に偏っていることが見られる。

*高群および低群が相似する無線局数になっているのは、周波数割当計画にて「高群又は低群のいずれか又は双方(ブロック名のアルファベット及び数字が同一のブロックを対とする。)のブロックを使用することとする。」と定められているためである。

参考:周波数再編アクションプラン(令和5年度版)

26GHz帯(25.25~27GHz)及び40GHz帯(37.0~43.5GHz)については、具体的なニーズや携帯電話事業者による26GHz帯の活用状況を勘案しつつ、令和7年度末を目途に5Gへ割り当てることを目指し、既存無線システムとの共用検討、ダイナミック周波数共用の適用帯域や共用管理システムの要件等に係る技術試験を令和5年度から実施する。また、当該周波数帯における既存の無線システムの移行先候補として、22GHz帯無線アクセスシステム(FWA)の高度化に係る技術試験を令和5年度から開始する。

重点調査結果
26GHz帯FWA

4 無線局の具体的な使用実態⑥

17

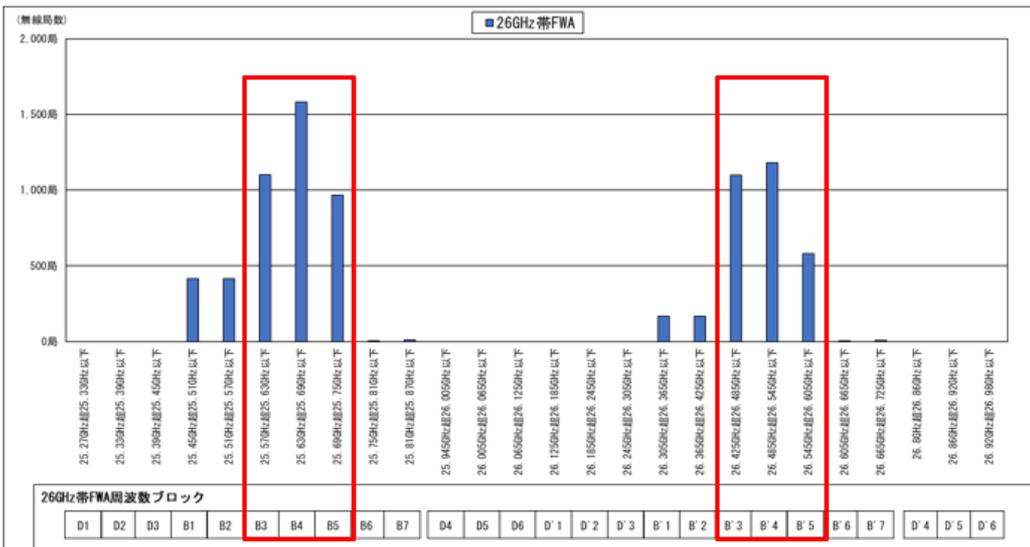
正

★(3)周波数帯幅利用状況

★:アクションプランで着目している項目

◆周波数集計区分ごとの無線局数

設問の対象: 全ての無線局



ブロック名	周波数集計区分	無線局数
D1	25.27GHz超25.33GHz以下	0局
D2	25.33GHz超25.39GHz以下	0局
D3	25.39GHz超25.45GHz以下	0局
B1	25.45GHz超25.51GHz以下	416局
B2	25.51GHz超25.57GHz以下	416局
B3	25.57GHz超25.63GHz以下	1,101局
B4	25.63GHz超25.69GHz以下	1,582局
B5	25.69GHz超25.75GHz以下	968局
B6	25.75GHz超25.81GHz以下	6局
B7	25.81GHz超25.87GHz以下	11局
D4	25.945GHz超26.005GHz以下	0局
D5	26.005GHz超26.065GHz以下	0局
D6	26.065GHz超26.125GHz以下	0局
D'1	26.125GHz超26.185GHz以下	0局
D'2	26.185GHz超26.245GHz以下	0局
D'3	26.245GHz超26.305GHz以下	0局
B'1	26.305GHz超26.365GHz以下	167局
B'2	26.365GHz超26.425GHz以下	167局
B'3	26.425GHz超26.485GHz以下	1,100局
B'4	26.485GHz超26.545GHz以下	1,181局
B'5	26.545GHz超26.605GHz以下	581局
B'6	26.605GHz超26.665GHz以下	6局
B'7	26.665GHz超26.725GHz以下	7局
D'4	26.8GHz超26.86GHz以下	0局
D'5	26.86GHz超26.92GHz以下	0局
D'6	26.92GHz超26.98GHz以下	0局

(参考)
修正前
無線局数

0局
0局
416局
416局
1,119局
1,520局
1,582局
974局
6局
11局
0局
167局
167局
870局
1,520局
1,181局
587局
6局
7局
0局
0局
0局

調査結果のポイント

- 周波数集計区分ごとの無線局数を見ると、26GHz帯FWAについては一部の周波数帯に偏っていることが見られる。

*高帯および低帯が相似する無線局数になっているのは、周波数割当計画にて「高帯又は低帯のいずれか又は双方(ブロック名のアルファベット及び数字が同一のブロックを対とする。)のブロックを使用することとする。」と定められているためである。

参考:周波数再編アクションプラン(令和5年度版)

26GHz帯(25.25~27GHz)及び40GHz帯(37.0~43.5GHz)については、具体的なニーズや携帯電話事業者による28GHz帯の活用状況を勘案しつつ、令和7年度末を目途に5Gへ割り当てることを目指し、既存無線システムとの共用検討、ダイナミック周波数共用の適用帯域や共用管理システムの要件等に係る技術試験を令和5年度から実施する。また、当該周波数帯における既存の無線システムの移行先候補として、22GHz帯無線アクセスシステム(FWA)の高度化に係る技術試験を令和5年度から開始する。

重点調査結果
26GHz帯FWA

4 無線局の具体的な使用実態⑦

18

誤

★(3)周波数帯幅利用状況

★:アクションプランで着目している項目

◆ 無線局の年間の運用区域実績(周波数ブロック別)

設問の対象:1年間で発射実績のある無線局

26GHz帯FWAはD1～D'6までの計26つの周波数ブロックに分けて免許されている。

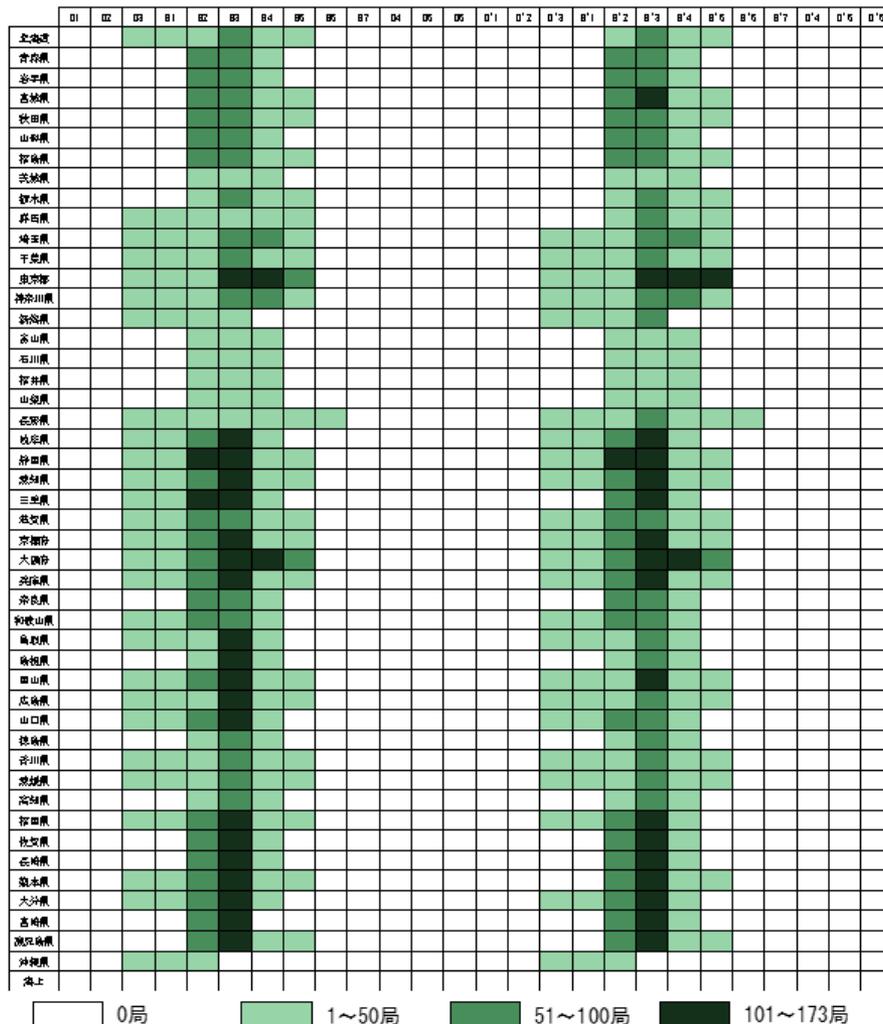
ブロック名	周波数集計区分
D1	25.27GHz超25.33GHz以下
D2	25.33GHz超25.39GHz以下
D3	25.39GHz超25.45GHz以下
B1	25.45GHz超25.51GHz以下
B2	25.51GHz超25.57GHz以下
B3	25.57GHz超25.63GHz以下
B4	25.63GHz超25.69GHz以下
B5	25.69GHz超25.75GHz以下
B6	25.75GHz超25.81GHz以下
B7	25.81GHz超25.87GHz以下
D4	25.945GHz超26.005GHz以下
D5	26.005GHz超26.065GHz以下
D6	26.065GHz超26.125GHz以下
D'1	26.125GHz超26.185GHz以下
D'2	26.185GHz超26.245GHz以下
D'3	26.245GHz超26.305GHz以下
B'1	26.305GHz超26.365GHz以下
B'2	26.365GHz超26.425GHz以下
B'3	26.425GHz超26.485GHz以下
B'4	26.485GHz超26.545GHz以下
B'5	26.545GHz超26.605GHz以下
B'6	26.605GHz超26.665GHz以下
B'7	26.665GHz超26.725GHz以下
D'4	26.8GHz超26.86GHz以下
D'5	26.86GHz超26.92GHz以下
D'6	26.92GHz超26.98GHz以下

調査結果のポイント

- 周波数集計区分ごとの無線局数を都道府県別で見ると、26GHz帯FWAについては都道府県でも周波数帯の偏りが異なる。

参考:周波数再編アクションプラン(令和5年度版)

26GHz帯(25.25～27GHz)及び40GHz帯(37～43.5GHz)については、具体的なニーズや携帯電話事業者による26GHz帯の活用状況を勘案しつつ、令和7年度末を目途に5Gへ割り当てることを目指し、既存無線システムとの共用検討、ダイナミック周波数共有の適用帯域や共用管理システムの要件等に係る技術試験を令和5年度から実施する。また、当該周波数帯における既存の無線システムの移行先候補として、26GHz帯無線アクセスシステム(FWA)の高度化に係る技術試験を令和5年度から開始する。



重点調査結果
26GHz帯FWA

4 無線局の具体的な使用実態⑦

18

正

★(3)周波数帯幅利用状況

★:アクションプランで着目している項目

◆ 無線局の年間の運用区域実績(周波数ブロック別)

設問の対象:1年間で発射実績のある無線局

26GHz帯FWAはD1～D'6までの計26つの周波数ブロックに分けて免許されている。

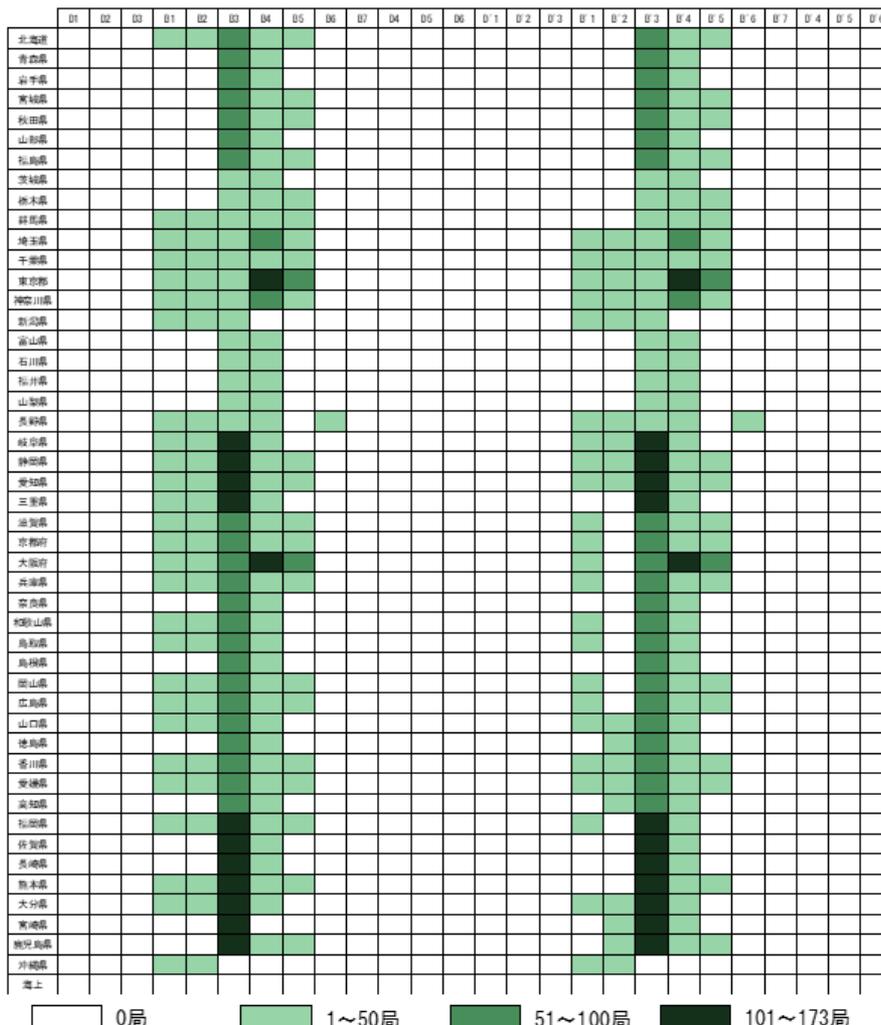
ブロック名	周波数集計区分
D1	25.27GHz超25.33GHz以下
D2	25.33GHz超25.39GHz以下
D3	25.39GHz超25.45GHz以下
B1	25.45GHz超25.51GHz以下
B2	25.51GHz超25.57GHz以下
B3	25.57GHz超25.63GHz以下
B4	25.63GHz超25.69GHz以下
B5	25.69GHz超25.75GHz以下
B6	25.75GHz超25.81GHz以下
B7	25.81GHz超25.87GHz以下
D4	25.945GHz超26.005GHz以下
D5	26.005GHz超26.065GHz以下
D6	26.065GHz超26.125GHz以下
D'1	26.125GHz超26.185GHz以下
D'2	26.185GHz超26.245GHz以下
D'3	26.245GHz超26.305GHz以下
B'1	26.305GHz超26.365GHz以下
B'2	26.365GHz超26.425GHz以下
B'3	26.425GHz超26.485GHz以下
B'4	26.485GHz超26.545GHz以下
B'5	26.545GHz超26.605GHz以下
B'6	26.605GHz超26.665GHz以下
B'7	26.665GHz超26.725GHz以下
D'4	26.8GHz超26.86GHz以下
D'5	26.86GHz超26.92GHz以下
D'6	26.92GHz超26.98GHz以下

調査結果のポイント

- 周波数集計区分ごとの無線局数を都道府県別で見ると、26GHz帯FWAについては都道府県でも周波数帯の偏りが異なる。

参考:周波数再編アクションプラン(令和5年度版)

26GHz帯(25.25～27GHz)及び40GHz帯(37～43.5GHz)については、具体的なニーズや携帯電話事業者による28GHz帯の活用状況を勘案しつつ、令和7年度末を目途に5Gへ割り当てることを目指し、既存無線システムとの共用検討、ダイナミック周波数共有の適用帯域や共用管理システムの要件等に係る技術試験を令和5年度から実施する。また、当該周波数帯における既存の無線システムの移行先候補として、22GHz帯無線アクセスシステム(FWA)の高度化に係る技術試験を令和5年度から開始する。



【ご質問】 26GHz帯FWAの月ごとの発射日数について

「常時発射ではない無線局」のみとした場合、年間で何日程度、電波を発射しているのか。

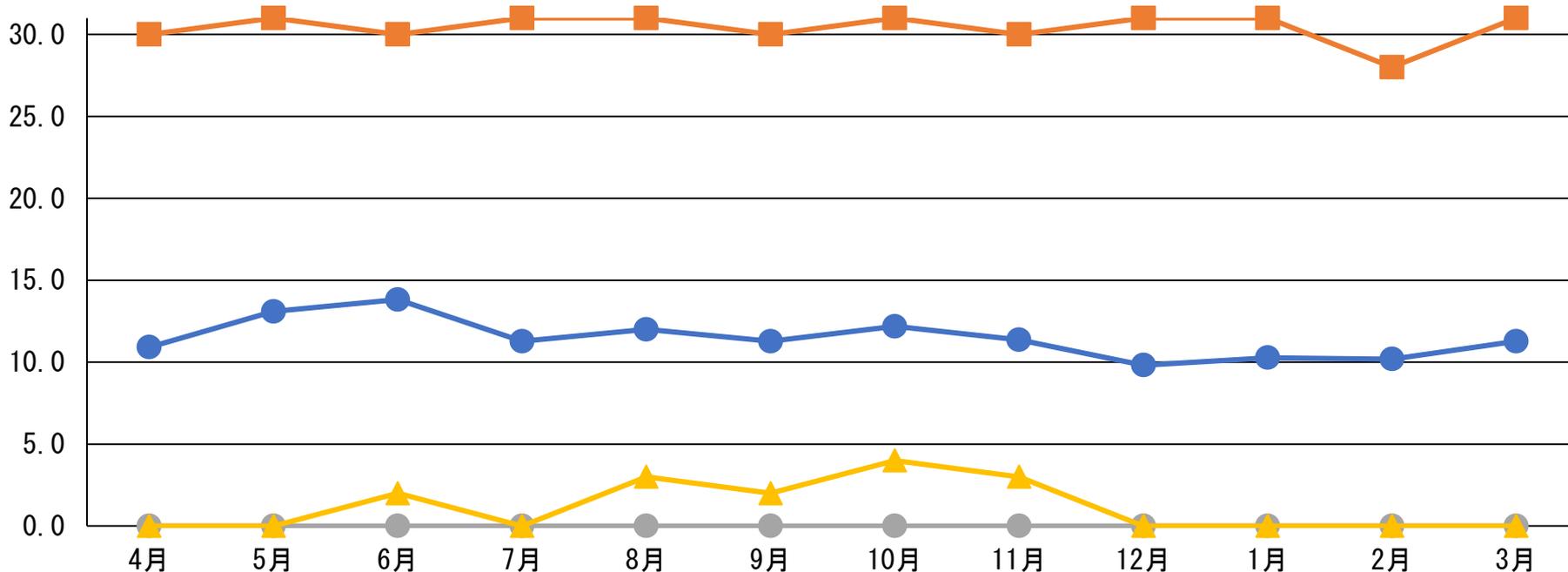
【回答】 「常時発射ではない無線局」1,583局の内、1年間で発射実績があったのは22局(1.4%)で、ほとんど(1,561局(98.6%))の無線局は発射実績がありませんでした。

「常時発射ではない」かつ「1年間で発射実績のある無線局」とした場合、平均で137.5日、中央値で61日発射がございました。

26GHz帯FWA 月ごとの電波の発射日数 (常時発射ではない、1年間で発射実績のある無線局)

N=22局

● 平均値 ■ 最大値 ● 最小値 ▲ 中央値



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～3月の1年間
平均値	10.9日	13.1日	13.8日	11.3日	12.0日	11.3日	12.2日	11.4日	9.8日	10.3日	10.2日	11.3日	137.5日
最大値	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
最小値	0日	0日	0日	0日	0日	3日							
中央値	0日	0日	2日	0日	3日	2日	4日	3日	0日	0日	0日	0日	61日